

毎月19日は、「かがわ育児の日」

県を含む官民67団体で構成する「かがわ子育て支援県民会議」では、毎月19日を「かがわ育児の日」（育=い（1）く（9）児の日）として提唱。育児の日を普及させ、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めています。

かがわ子育て支援県民会議会員の取組みレポート Vol.7

香川県児童・青少年健全育成事業団 香川県栄養士会、かがわ子育てひろば連絡協議会

日時 令和4年10月2日（日）9:50~15:00
場所 さぬきこどもの国 芝生広場 ステージ

香川県児童・青少年健全育成事業団が主催する「かがわ子育て支援フェスティバル」は香川県内の子育て支援に携わる団体がそれぞれの活動内容を子育て家庭に紹介するとともに、県内に様々な支援団体等があることを知ってもらうことを目的として開催されており、育児の日の趣旨にも近いことから取材に伺いました。今回は、新型コロナウイルス感染防止の観点からブース出展はなく、ステージプログラムのみで開催でしたが、多くの方が訪れ大盛況でした。

その中で今回は、県民会議の会員である「香川県栄養士会」「かがわ子育てひろば連絡協議会」のステージをご紹介します。

まねっこ親子あそび （認定NPO法人わははネット）

「かがわ子育てひろば連絡協議会」の会員である「認定NPO法人わははネット」のステージでは、地域子育て支援拠点（「わはは・ひろば高松」「わはは・ひろば香西」）の利用者とともに、音楽に合わせた遊びを披露していました。観客と一緒に遊ぶ工夫も行っており、子ども達の笑顔が印象的なステージでした。今回のステージで歌った手あそび歌は毎日ひろばで午前と午後の閉館前に歌っている歌を使用しています。担当者は「このような機会をいただき、わははひろばについて周知できてうれしく思う。これからは、子どもだけでなく地域の拠点として、子育て前の若者のボランティアなどを増やして多世代の方が子育て支援を知るきっかけにしていきたい。」と話してくださいました。



なんでも食べる元気なうーちゃん （香川県栄養士会）

香川県栄養士会のステージでは、子どもの食育について分かりやすく説明していました。食事をすると食材がどのように体の栄養に変わっていくかをうーちゃんというキャラクターを用いながら説明するとともに、三色食品群についてのクイズを実施していました。クイズの際は、子ども達から大きな声で回答が返ってきており、子ども達も興味深々の様子。楽しみながら食育について考えるいい機会になったようです。香川県栄養士会では、他にもさぬきこどもの国で乳幼児向けの子育て相談活動である「はぐくみ広場」や「まめっこデー」における個別の栄養相談や離乳食の調理デモンストラクションを定期的に行っています。



他にもフラダンスやバンドの演奏など子ども達が楽しめる様々なステージが披露されていました。コロナ禍でイベントが少ない中で、子どもも大人も楽しめる貴重な機会になったのではないのでしょうか。